

推 薦 概 要

氏 名	推 薦 理 由	選考委員
<p>久保田 秀典 (写真部門)</p>	<p>写真のジャンル・表現が多様化する中で、ネイチャー・自由部門は勿論のこと、デジタルカメラの機能を活かしたテクニカルな表現まで、幅広い作品制作・指導・審査に長けた作家で、写真部門への新風を期待し、新表現作家の久保田秀典氏を推薦いたします。</p> <p>(作家略歴)</p> <p>2016年08月 京都・ギャラリー古都 個展 「さとのじかん」                  2015年05月 奈良市写真美術館 企画展「さとのじかん」                  2014年06月 葛城市ギャラリー ら・しい 個展 「里の時間」                  2012年04月 奈良市美術館にて 「東雲の里Ⅱ」                  2011年10月 富士フィルムフォトサロン・東京個展 「東雲の里Ⅱ」                  2011年02月 奈良県文化会館 奈良写真絵巻グループ写真展                  2011年01月 日経新聞社東京本社ビル 入江泰吉賞受賞記念写真展                  2010年11月 平城還都1300年記念入江泰吉賞受賞                  入江泰吉記念奈良市写真美術館にて受賞写真展</p> <p>(写真指導歴)</p> <p>写真クラブジャック&amp;ベティ                  トミカラー主催 フォトクラブ・フィールド                  奈良ウェルネス主催 写真講座                  飛鳥公民館 フォトクラブ・あすか                  その他 田原公民館・南部公民館・柳生公民館・飛鳥公民館での写真講座も経験</p> <p>(写真審査員)</p> <p>現在・明神山フォトコンテスト・山添村フォトコンテスト・山の辺の道[奈良道]フォトコンテスト審査員                  過去・田原フォトコンテスト・記紀万葉フォトコンテスト・第1回奈良フォトコンテスト等を審査</p> <p>(出版物等)</p> <p>2018年大和信用金庫カレンダー・2017年大和信用金庫カレンダー                  男の隠れ家・フォトコン・ならら等グラビアに写真提供・チラシ制作等</p> <p>(受賞)</p> <p>2010年平城還都1300年祭入江泰吉賞受賞                  2010年前田真三賞最終選考                  風景写真優秀賞                  富士フィルム・クラブ対抗写真賞優秀賞 他</p> <p>(所属)</p> <p>日本写真家協会一奈良県美術人協会一奈良市美術家協会一NPO法人寧楽・平城・奈良理事</p>	<p>澤 戡三</p>

県展審査員団の編成案(第69回～)

部門		第61回	第62回	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回	第71回	第72回
日本画	上村 淳之	○			○	○		○	○	○		○	
	尾 精		○	○			○	○	○	○		○	○
	村井 玉峰	○	○				○	○	○	○		○	○
	杉山 洋子			○	○		○	○	○	○		○	○
	渡辺 章雄	○	○				○	○	○	○		○	○
	中庭 隆晴				○	○			○	○			○
	水野 取							○		○		○	○
	中尾 壽男						○			○			○
洋画	吉中 充代								外○				
	辰巳 文一	○			○	○			○	○		○	○
	金田 絵美	○			○	○			○	○		○	○
	森長 武雄	○			○	○			○	○		○	○
	堀井 克代		○	○			○	○	○	○		○	○
	白石 道夫		○	○			○	○	○	○		○	○
	山田 博司			○	○		○	○	○	○		○	○
	松本 秋美			○	○		○	○	○	○		○	○
	平井 利明		○	○			○	○	○	○		○	○
	中村 一雄			○	○		○	○	○	○		○	○
	岡田 俊一	○	○			○	○			○		○	○
彫刻	櫻井 麗正	○	○			○	○			○		○	○
	山本 和也	○	○			○	○			○		○	○
	島田 康寛	○	○			○	○		外○			○	○
	吉沢 榮敏	○			○					○	○		
	山口 克昭									○	○		
	大林 社寿									○	○		
	小川 清彦		○	○			○			○	○		○
	瀬井 徳司			○	○			○		○	○		○
	杉村 仁	○			○	○				○	○		○
	大木 稔	○	○		○	○				○	○		○
工芸	石増 敏枝			○	○		○	○		○		○	○
	市島 國雄						○	○		○		○	○
	鈴木 正三							○		○		○	○
	坂上 義太郎								外○			○	○
	大塩 正義(陶)	○			○	○				○	○		○
	黒川 和江(人)			○	○		○	○		○	○		○
	今西 方哉(陶)			○	○		○	○		○	○		○
	森本 恭子(織)		○	○			○	○		○	○		○
	河野 榮一(陶)		○	○			○	○		○	○		○
	北村 昭齋(漆)	○			○	○			○	○	○		○
	宮崎 芳郎(染)	○			○	○			○	○	○		○
書芸	井上 楊彩(人)	○	○			○	○			○		○	○
	脇田 宗孝(陶)	○	○			○	○			○		○	○
	兼先 恵子(染)	○	○			○	○			○		○	○
	岸本 圭司(漆)		○	○			○			○		○	○
	坂本 曲齋(木工)		○	○			○			○		○	○
	宮崎 隆旨								外○			○	○
	佐伯 華水(仮)	○	○			○	○			○	○		○
	宮崎 美光(漢)	○	○			○	○			○	○		○
	吉川 美恵子(仮)	○	○			○	○			○	○		○
	豊 散山(漢)	○	○			○	○			○	○		○
	中村 象谷(漢)	○	○			○	○			○	○		○
写真	新井 蒼雨(仮)		○	○		○	○			○	○		○
	山本 高郎(仮)		○	○		○	○			○	○		○
	天野 静代(仮)	○	○	○		○	○			○	○		○
	森嶋 隆鳳(漢)		○	○		○	○			○	○		○
	新谷 泰麟(漢)	○		○	○		○			○	○		○
	池田 敏仁(漢)									○	○		○
	喜多 芳邑(漢)								○新	○	○		○
	富田 淳								外○				○
	澤 駱三	○			○	○		○		○	○		○
	杉田 幸作									○	○		○
矢野 建彦			○	○		○			○	○		○	
早津 忠保	○	○			○	○			○	○		○	
大上 豊	○	○			○	○			○	○		○	
樽本 九美夫		○	○		○	○			○	○		○	
辻本 斐之		○	○		○	○			○	○		○	
近藤 芳嗣									○	○		○	
上山 好庸									○	○		○	
本塚 勝康									○	○		○	
梅本 隆									○	○		○	
山本 眞弓									○	○		○	
久保田 秀典									○新	○		○	
吉田 正									外○			○	

※は、辞退等 ・ 新は、新審査員 ・ 外は、外部審査員

## 「第69回奈良県美術展覧会 あなたが選ぶ作品賞」について

「県展」として県民に広く親しまれている奈良県美術展覧会は、平成30年度で開催回数69回を数えます。その間、芸術に対する関心を高め、文化の振興と交流を図るとともに、その成果を発表するための県内最大規模の公募展として開催されてきました。

「平成29年度 第68回奈良県美術展覧会」では、「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」が本県で開催されるにあたり、「国文祭・障文祭なら2017記念賞」が、また、当該展覧会をさらに広く開かれた県民、国民のための展覧会とするため、県展来場者の投票によって受賞作品を決定する「あなたが選ぶ作品賞」が設けられました。

平成30年度においては、昨年度実施した「あなたが選ぶ作品賞」が入場者アンケートより好評であったことから、継続して実施することとします。

### 1 第69回奈良県美術展覧会「あなたが選ぶ作品賞」の決定方法

県展会場入口で一般公開期間の来場者に投票用紙を渡し、会場に展示された入選作品の中から、各部門（日本画、洋画、彫刻、工芸、書芸、写真）ごとに最も気に入った作品を2点投票していただき、その結果、得票数の最も多い作品に各部門の「あなたが選ぶ作品賞」を授与します。

- ・県展賞・知事賞等の入賞作品が重ねて受賞作品となることを妨げません。
- ・得票数が同数となった場合は、最多得票作品すべてを受賞作品とします。
- ・一般公開終了後、奈良県美術展覧会実行委員会事務局により集計作業を行い受賞作品を決定し、本人に通知するとともにホームページに掲載します。

### 2 表彰

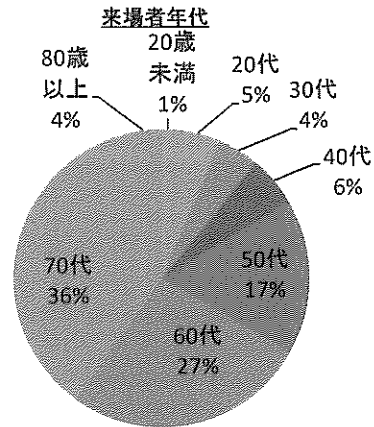
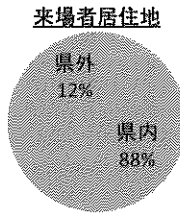
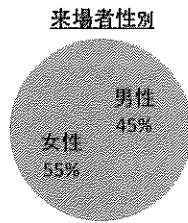
受賞者には、賞状等を授与します。

### 3 添付資料

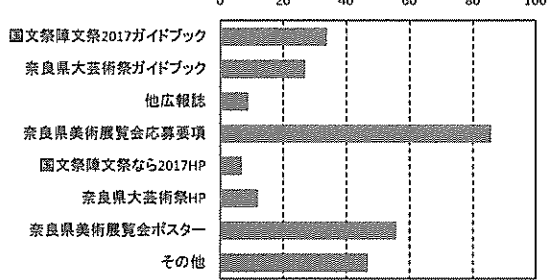
- ・来場者アンケート結果
- ・「あなたが選ぶ作品賞」投票用紙

# 平成29年度 第68回奈良県美術展覧会 アンケート結果

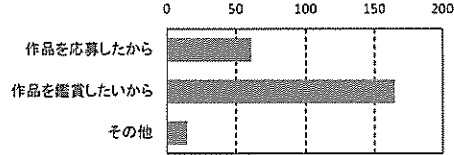
アンケート回答数	10月29日	106
	10月30日	146
	合計	252



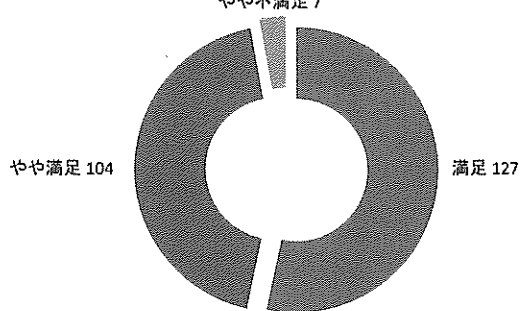
## 奈良県美術展覧会の情報入手手段(複数回答可)



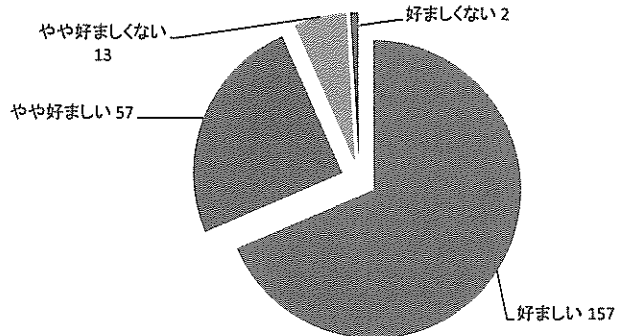
## 来場を決定した理由



## 展覧会の満足度



## 来場者の投票による「あなたが選ぶ作品賞」の決定について



※アンケート提出分について、未回答部分を除いてデータを作成しています。

- ・一般公開初日、2日目に「あなたが選ぶ作品賞」投票にあわせてアンケートを実施した。
- ・来場者の内、1割強が県外からの来場者である。また、年代別では60歳以上が2/3をしめる。
- ・応募要項、ポスターからの情報入手率が高く、その他に含まれる「知人より」入手する率もかなり多い。
- ・展覧会の満足度としては、約97%が「満足」・「やや満足」と回答している。
- ・「あなたが選ぶ作品賞」については、93%以上が「好ましい」・「やや好ましい」と回答しており、「新しい賞ができて、すべての作品を審査員になった気持ちで鑑賞できた。」「新しい賞は、作品をじっくり見ることになる良い企画である。」等の感想も多く寄せられており、次年度もぜひ継続して実施したい。

第69回奈良県美術展覧会では、  
来場した皆様の投票により、  
「あなたが選ぶ作品賞」を決定します。



## 「あなたが選ぶ作品賞」投票用紙

「平成30年度 第69回奈良県美術展覧会」では、ご来場の皆様にも県展に参加いただくために、ご来場者の投票による「あなたが選ぶ作品賞」を設けています。

下記の欄内に、各部門ごとに入選作品の中で良かったと思われる作品の展示番号を2点までご記入ください。投票の対象となる作品のキャプションに、シールを貼付しています。

各部門それぞれ、最も得票数の多かった作品に「あなたが選ぶ作品賞」を授与します。

投票期間 平成30年10月28日（日）、30日（火）

※鉛筆でご記入ください。

- ・展示番号をご記入ください。

部門	展 示 番 号 (シールを貼付しています)	
日本画		
工 芸		
書 芸		
彫 刻		
写 真		
洋 画		

(注1) 展示番号については、出品目録や作品横のキャプションをご参照ください。

(注2) この投票用紙以外の投票は無効です。

(注3) 以下のような投票は、無効になります。

- ①各部門で3点以上の展示番号が記入されたもの。
- ②審査員、参与、招待作家の作品の展示番号が記入されたもの。
- ③展示番号が読み取れないもの。

## 第69回奈良県美術展覧会 記念講演の開催について

### 1 日時

平成30年10月28日（日）10:30～11:50

### 2 場所

奈良県文化会館多目的室

### 3 講演者

伊藤 郁太郎（大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長）

1931年、大阪市生まれ。1955年、東北大学文学部美学美術史学科卒。同年、安宅産業株式会社入社。以来、安宅英一氏の元で安宅コレクションの形成に従事。美術品室長。1977年、同社、伊藤忠商事と合併により退社。1982年、大阪市立東洋陶磁美術館設立とともに館長。2007年退任。この間、東洋陶磁学会常任委員長、文化庁文化審議会分科会専門委員、大阪大学・神戸大学非常勤講師などを経て、現在、大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長、東洋陶磁学会名誉顧問、日本陶磁協会顧問、民族芸術学会評議員、湯木美術館理事、白鶴美術館評議員など。1986年、東洋陶磁の研究業績により、第7回小山富士夫記念功績褒章受賞、1995年、韓国陶磁普及の功績により、韓国政府から文化勲章（宝冠）を授与される。2003年、東洋陶磁の研究業績により、文化庁長官表彰を受ける。

### 4 演題

美術品贋作談義

### 5 その他

奈良県美術展覧会実行委員会、奈良県美術人協会にて申込者を募集します。

（先着順100名）

「奈良県大芸術祭、奈良県障害者大芸術祭ホームページ」にて、9月1日より9月28日まで申込を受け付けます。